

創業制度利用者のご紹介について

ペンキ屋 A

代表

いわさき みちあき
岩崎 道明 さん

「」の道一筋40年、ベテラン塗装工の岩崎道明さん。県内の塗装会社で技術を磨き、25歳の若さで営業兼管理職として現場を統括。その後、2018年5月に独立し、「ペンキ屋A」を創業しました。長年培ってきた塗装技術を生かして内装・外装を一手に引き受け、多忙な日々を送っています。



多忙な中で磨いた技術

中学校卒業後、定時制高校に通いながら塗装工として働いた岩崎道明さん。務めていた会社は、建設業者さんからの仕事を請け負っており、仕事を覚えるのがおもしろく、塗装の腕はメキメキ上達しました。「いつかは独立したい」と思いながら仕事に打ち込み、まわりから若手のホープとして期待されるようになりました。

22歳からは、人体に悪影響を及ぼすアスベスト除去の仕事に従事し、肉体的にも精神的にもきつい現場を経験。高松市内の小学校を受け持ち、50人の職人を束ねて作業をしました。「健康面の不安があったものの、子どもたちの安全を守る責任がありました」と話します。

25歳の時に営業兼管理職となってから、仕事はますます忙しくなりました。病院や学校などの大型施設の内装・外装を手掛け、大勢の職人を采配しながら工期を管理。やりがいも大きくなりました。

パソコンが登場した頃、「これからは塗りの技術だけじゃいけない」と合間を縫ってパソコン教室に通い、自分でノートパソコンを購入して会社に持ち込みました。メールでの受発注や見積もり作成、労務管理など、仕事に欠かせないツールとなりました。

「一番大変だったのは、20年前のショッピングモールの新築工事でした」と話す岩崎さん。北海道、東京、大阪、山口、四国3県から約150人の塗装工が集結し、その指揮を執りました。12月23日のオープンに向けて、11月の終わり頃から突貫工事に突入。24時間2交代制で作業し、何とか乗り切ったと言います。



「自分のものづくり」の実現

その後、40年近く会社員として勤務していましたが、自分で店を持ちたいという夢があり、54歳の時に「ペンキ屋A」を立ち上げました。「本当は50歳前に独立したかった」と話しますが、まだまだ気力・体力ともに十分。最初は一人親方としてスタートし、すぐに個人事業主となり、塗装工1人を雇用しました。



「これまでのご縁もあって仕事はありましたが、高知県内の建設業者さんからの請負なので、入金先は先のこと。けれど、経費などの月々の支払いは発生するので、銀行から資金を借りることにしました。その時に、信用保証協会さんを紹介していただきました」と岩崎さん。「何をどこで手続きするのかわからなくて、結構苦労しました。信用保証協会さんにもいろいろ教えてもらって、お世話になりました」と振り返ります。

創業から2年が過ぎ、「徐々に軌道に乗ってきた」と岩崎さん。付き合いのあった建設業者さんからの注文を受け、県内はもとより、県外の現場も手掛けます。現在、昼夜問わず作業に入るのは、ショッピングモールの改修工事。新設時ほどではないにしろ、やはりハードな現場です。つながりのある職人さんの応援を受け、作業を進めています。

人が育つ、よい職場づくりを

経営者となった岩崎さんが大事にしているのは、人を大切にするよい職場づくり。「従業員の家族は自分の家族同様です」と、子育てしやすいよう休みは多めに、家族ぐるみで焼肉をしたり、土用の丑の日には家族分のうな重をお土産に。とてもアットホームな職場で、応援に来てくれる職人さんにも、「助けてもらっている」という気持ちで接しています。「けれど、仕事があることが一番大事。仕事が途切れないよう段取りをつけ、みんなの体調や安全に考慮しながら安心して働ける職場にしていきたい」と話します。

軌道に乗ってきたペンキ屋Aの今後を、「若手を育て、65歳ぐらいで現場を降りたい」と岩崎さん。元気なうちは精力的に仕事をしたいと考えていますが、従業員たちの未来にも考えを巡らせています。「どう考えても、私の方が先に辞めることになるので、その時に、従業員をどうするか。続けてほしい気持ちもありますが、畳むことも考えておかなければ」と、退職金の準備も始めました。

一方で、若い人に技術を伝えたいという思いも大きくなってきました。「壁の塗装は下地の仕上げが重要で、見えないところの手を抜かないことが大事です。最も難しいのは木目を生かした家具調塗装。薄く、ムラなく、仕上げないといけません」。伝えたいことはたくさんあります。「今は見て覚えるという時代ではないし、未経験の人に基本から少しずつ教えたい」と、若者を育てることも自分の仕事だと感じています。

「今は県外の仕事もあって、自分で運転して行くけど、そのうちやっぱりしんどくなる。そうなったら、若いものに任せたいね。その時は、見積もりや下準備、片づけなど、雑用全般を引き受けます！」と元氣いっぱい。引退はまだまだ遠そうです。



会社概要

ペンキ屋 A

所在地 〒781-0270
高知市長浜4615-13

T E L 090-2784-2936

